

抄録

経尿道的前立腺腫核出術の時代になる前に習得すべきことは？

済生会新潟第二病院

泌尿器科

吉水 敦、車田 茂徳

経尿道的前立腺腫核出術とはHoLEP・平岡式内視鏡手術・TUEBなどである。経尿道的前立腺腫核出術とTUR-Pは前立腺部尿道の抵抗を軽減することにより排尿障害の改善を目指すという点では同じであるが、手技的にはかなり異なる。私達は当院で2006年7月より400例以上のHoLEPをやった経験より、経尿道的な前立腺肥大症手術は今後安い器具で安全に腺腫核出が施行出来れば経尿道的前立腺腫核出術が主流となりTUR-Pは少数派になると考えている。そうなる前に習得すべきこととして、持続灌流式シースに慣れておくこと。loop電極だけでなくポイント先電極やキュレットの使用に慣れておくこと。前立腺尖部の剥離に慣れておくこと。モルセレーターの使用に慣れておくことが重要と思う

経尿道的前立腺腫核出術の時代になる前に習得すべきことは？

済生会新潟第二病院

泌尿器科

吉水 敦、車田 茂徳

はじめに

2006年7月より400例以上のHoLEPをやった経験より、経尿道的な前立腺肥大症手術は今後安い器具で安全に腺腫核出が施行出来れば経尿道的前立腺腫核出術が主流となりTUR-Pは少数派になると考えている。

経尿道的前立腺腫核出術とTUR-Pは前立腺部尿道の抵抗を軽減することにより排尿障害の改善を目指すという点では同じであるが、手技的にはかなり異なるので今後経尿道的前立腺腫核出術をやろうと考えている人が今から習得すべきことは何か私たちに考察してみた。

400例以上のHoLEPをやって分かったこと

手術としての完成度が高く術後すっきりする（腺腫をある程度確実に取り除ける）

出血量を少なくできる（輸血が必要になったのは腺腫が195gの一症例のみ）

当院のHoLEPは電気メスで止血しているが排尿時痛は少ない（止血にレーザーを使用するから痛くないのではなく腺腫核出術であれば術後の疼痛は少ない可能性あり）

以上より今後の経尿道的前立腺肥大症手術を考えると安い器具で安全に腺腫核出が施行出来れば術式は何でも良い可能性がある一経尿道的前立腺腫核出術の時代になる

現時点で膀胱内に落とした核出腺腫を回収するためにはモルセレーターはどうしても必要

当院のHoLEP手技-HoLでの剥離までの手技

尿道括約筋の確認とその膀胱側をマーキング

前立腺尖部12時のTUR（loop電極）

前立腺尖部尿道粘膜の全周性切開（ポイント先電極）

前立腺尖部を全周性にキュレットで剥離する

loop電極で前立腺尖部のトリミング（レーザーでの剥離をスムーズに行うため）

当院のHoLEP手技-HoLでの剥離までの手技のポイント

持続灌流式シースを使用している

loop電極だけでなくポイント先電極やキュレットを使用して前立腺尖部の剥離を全周性に実施してさらにloop電極によるトリミングをおこなっている（尿失禁を防ぐことが出来てHoLによる剥離にスムーズに入れる）

いいたいこと

当院のHoLEPでHoLによる剥離までの手技は普通の病院でも実践可能でありやる気があればすぐ開始できる。

現時点で膀胱内に落とした核出腺腫を回収するためにはモルセレーターはどうしても必要なのでモルセレーターの使用に慣れるためにはHoLEPをやっている病院で研修を受ける必要がある。（要望があれば受け入れる用意はある）

結論

前立腺肥大症に対する手術は経尿道的前立腺腫核出術が主流になる可能性がある。

その前に習得すべきこととして

ポイント先電極やキュレットの使用に慣れておくこと

前立腺尖部の剥離に慣れておくこと

モルセレーターの使用に慣れておくこと

が重要と思う。